

カトリック

# 広島教区報

## 新年を迎えて

広島教区司教 三末 篤實

新年！おめでとう  
ございます。

旧年中は公私ともに大変  
お世話さまに与り、ご支援  
ご協力賜りましてありが  
とうございました。心から  
感謝申し上げます。

神の大いなる恩恵とご配  
慮の中で、広島教区は自ら



のモットーにしたがって進  
んで参りました。しかし、  
すべてが完全であったとは  
申せません。まだ足りない  
面、不完全な面も多々あつ  
たと思います。そのような  
ところはみんな反省し、  
祈り、新たな決意のもとに  
前進して参りましょう。

現実社会のどこをみて  
も、すべての人が幸  
せで平穏な生活を  
送っているといえま  
せん。そういう生活  
を送ることができ  
のでしょうか。人間  
社会はだれかが幸せ  
であればいいとい  
うことはゆるされま  
せんし、それは不可  
能なことです。人間  
は社会的な存在であ  
るゆえに単独で孤独

No. 79

カトリック  
広島司教区

発行責任者  
広報担当  
服部大介神父

広島市中区鞆町 4-42  
広島司教館内  
TEL (082)221-6017

あつては生きることができ  
ないのです。

しかし、現実の社会では  
そのような状態を余儀なく  
されている人々がたくさん  
います。私たちが知って  
います。すべての平和活動  
もそのような現実から出  
発しなければなりません。  
「心の貧しい人々は幸いで  
ある。天の国はその人たち  
のものである（マタイ五の  
三）。」

現代の文明文化の目覚ま  
しい発展は、あらゆるもの

を豊かにし、物的には恵ま  
れた状態になりました。し  
かし、そのような恩恵に与  
れない多くの人々もいま  
す。否、むしろ恵まれない  
貧しい人々が多く存在して  
いるのです。物的に豊かな  
人々、反対に貧しい人々、  
いずれの人々の心のありよ  
うはどうなっているのだ  
でしょうか。豊かさのゆえに、  
あるいは貧しさのゆえに、  
さらには人間性の弱さのゆ  
えに、その人々の心は「ま  
んぱい」になってはいない  
でしょうか。そのようなと  
ころには「心の貧しさ」は  
ありません。心の貧しさは  
生まれてこないのです。

人生の目的は天の国に到

達することです。私たちの  
使徒職、平和運動の目的は  
天の国へすべての人々が至  
るためですし、神のみ国の  
完成にあることを忘れては  
なりません。

広島教区は「平和の使徒  
となろう」を長期的なモツ  
トに掲げ、(1)平和(2)きよ  
うどう(3)養成の三つの柱を  
据えて、平和の使徒として  
の役割を果たすために今年  
も取り組んで参ります。「平  
和を実現する人々は幸いで  
ある。その人たちは神の子  
と呼ばれる（マタイ五の  
九）。」新年にあたり、皆様  
の上に神の祝福をお祈り  
いたします。

### 2010年 教区年間テーマ 決定

「平和の使徒となろう」  
～神さまの呼びかけにこたえて～

## 二〇一〇年の新しい

### 教区行事が決定！

六月六日(日)

『三末司教叙階二十五周年  
記念行事』

十一月二十三日(祝・火)

『二〇一〇広島教区代表者  
会議』『司教宣言』五周  
年に あたって』

二〇〇九年十二月十三日の広島司  
教区宣教司牧評議会および十二月  
二十六日の平和の使徒推進本部議  
で、二〇一〇年の教区年間テーマ、  
サブテーマが話し合わせ、「平和の  
使徒となろう」を神さまの呼びかけ  
にこたえてが決定された。  
このサブテーマを導き出すため、  
広島司教区宣教司牧評議会および平  
和の使徒推進本部会議で色々な意見  
が出されて議論された。

(二面へ続く)



(二面の続き)  
サブテーマのポイントとして、教区の共通課題である『どのように教区内に浸透させていくか』が挙げられ、そのため「二〇〇九年と同じサブテーマを継続する」「各教会に任せて自分たちでテーマを設定してもらう」「もつと分かりやすい文言とする」の意見に集約された。

共通のサブテーマの必要性は一同に感じているが、教区民への浸透と一致の難しさは否めない現状であると認識しているのも事実である。そのため「各教会に任せて自分たちでテーマを設定してもらおう」という意見は、各教会の状況を勘案すると負担に感じる教会が出てくることを懸念した。しかし、自分たちに合ったテーマ設定をしたい教会もあるため、共通サブテーマは設定するが、必要に応じて各教会で設定し直してもらっても良いこととした。

教区のこれからの取り組みの基本としては、各地区宣教司牧評議会の推進力に起因するため、二〇一〇年

一月に各地区で開催される地区宣教司牧評議会の議題として、二〇一〇年の教区年間テーマの趣旨と教区民への浸透に関する議論に期待したい。

今回のサブテーマの趣旨は、司祭年にあたってわたしたち教区民一人ひとりが、「信徒」も「司祭」も神の民の「祭司職」に召されているという意識を持つ



平和の使徒推進本部

こと、そのために、ミサ、祈り、様々な活動を通して「イエスの弟子としての生き方をどう実践していくか」「神さまの呼びかけにどうこたえるのか」と問われている、まさに「神さまの呼びかけ」である。

今年二〇一〇年は広島司教区宣教司牧評議会が実施が決定した二つの大きな教区行事が予定されている。

一つ目は、六月六日(日)に広島で開催される『三末司教叙階二十五周年記念行事』である。

平和の使徒推進本部の傘下で実行委員会の発足が予定されており、企画等について準備が進められることになった。記念ミサの時間のみ決定している。(十四時から)

青少年や在住外国人の方など、多くの方が行事に参加できるようにとの要望が出ている。

記念行事では、三末司教の叙階二十五周年の軌跡を教区民が共有できるように各種イベントも企画される予定。

二つ目は、十一月二十三日(祝・火)に開催決定し正式な名称となった『二〇一〇広島教区代表者会議 ～「司教宣言」五周年にあたって～』である。

二〇〇五年に広島教区代表者会議が開催されて五年。これまでの五年間を振り返ること、現在の確認、そして、これからの五年を考えることを目的に、「きょうどう」を中心に開催される予定。

この実行委員会も平和の使徒推進本部の傘下で、きょうどう推進チームと養成推進チームが中心となり発足が予定されている。

この広島教区代表者会議の基本は、各地区宣教司牧評議会の活性化を目指し、これからの準備のためのプロセス(過程)を大切にすることが重要な要素となる。

J・C・A・R・M 広島便り

世界平和記念聖堂の『国際交流デー』に

三百人集う

十月二十五日、絶好の秋晴れの下、大聖堂で英語ミサを、ホールと庭で交流の集いを行った。あいにくバザーと重なった教会からの参加は難しかったが、広島市内、東広島、呉、福山、倉敷などから外国人・日本人あわせて約三百人も信徒が集まった。

ギャリー神父・レネ神父・ジェリー神父・パトリック神父司式・呉教会聖歌隊の御ミサはとても温かいものだった。

二〇一〇年は、この二つの教区行事を中心に、教区年間テーマの趣旨を理解して、わたしたち教区民一人ひとりの心に問いかけられた「神さまの呼びかけ」を心に留め、「平和の使徒」として具体的に実践していく一年になることが込められた年である。

(平和の使徒推進本部)

広島フイリピン人協会(M・ルズガル会長)のメンバーが心づくしの美味しいランチを作ってください、各教会が練習し準備してきた余興のかずかず、歌・バンド・ダンス・スピーチコンテストなどで日暮れまで陽気に盛り上がった。労務や生活相談の専門家を招いたコーナーも喜ばれた。

母国の大水害や大地震被害で心を痛めている人、不況で仕事の心配ごとに直面している人が多かった中、お祈りと交流で互いの絆を強め希望を分かち合えた一日となった。

(J・C・A・R・M 広島 杉田)

カトリック入門講座を

担当して  
岡山・鳥取地区  
倉光 誠一

秋の或る日のこと。背の高い礼儀正しい青年が一人「カトリックの勉強がしたいのですが」と云って教会に尋ねてきました。応対に出られた神父様はその青年には「日曜日のミサの後、勉強することにしなう」と話され、私に「その青年が来たら宜しく頼む」と云われました。何年も前から成人の教理勉強のお手伝いは私の役目と決められています。第二回目の、愛は好き嫌いの感情ではない、どんな人でも愛さなければならぬというキリストの教えを学んだ時です。

私は、嫌いなものを愛するのは難しいので先ず全ての生徒を好きになることから始めました、と教師時代の経験を話しました。ところが犯罪者を好きになることなど難しいです、と云われます。そのAさんは刑務所(留置所)勤務の警察官だったのです。教師生活しかない私の狭い経験からの話があるのだと思ひ知らされまされた。さて今回はその話の続きです。

私は少年時代に読んだビクトル・ユーゴーのあの有名な長編小説「レ・ミゼラブル」を思い出しました。「一夜の宿を借りた教会から銀の燭台を盗み出して逮捕されたジャンバル

ジャンはその教会のミリエル司教の深い愛に感動して回心し慈善に励み人望を得て市長にまでなる。一方、正義感の強いジャベール刑事はジャンバルジャンの前科を知って逮捕する。心から回心して真人間に戻らせたい司教様の大きな愛の力に対する感動をもう一度思い出して次回の話題にしたいと思っています。それに関連して自分こそ善人であると思ひ人を厳しく裁くフアリザイ人の態度や更に人間の原罪や親鸞の悪人正機説なども関連してAさんとも考えて行きたいと思っています。謙虚にキリストの愛の教えを学ぶAさんはキット立派な警察官になれると信じています。



ペトロ白柳誠一枢機卿帰天

ペトロ白柳誠一枢機卿は、二〇〇九年十二月三十日、イエズス会上石神井修道院ロヨラハウスにて、心筋梗塞のため帰天した。享年八十一歳。枢機卿の永遠の安息のためにお祈りください。

略歴

1928年	6月17日	東京都に生まれる
1954年	12月21日	司祭叙階
1966年	3月15日	東京補佐司教任命
1966年	5月8日	司教叙階
1969年	11月15日	協働大司教任命
1970年	4月29日	東京大司教着座
1994年	11月26日	枢機卿親任
2009年	12月30日	帰天 (81歳)

新たに日本カトリック  
神学院になって

広島教区神学生  
グエン・クアン・トゥアン



今年から新しい日本カトリック神学院になり、二つのキャンパスがあり、東京キャンパスには神学科四年生(助祭コース)と哲学科一、二年生、合わせて二十一名、福岡キャンパスには神学科一、二、三年生、全部で二十四名が学んでいます。年に一度両キャンパスの神学生が集まると四十五名になります。新しい神学院になり、神学生が増えて、同時に仲間も多くなりました。新しい環境の生活でみんな尊重し合い、愛し合い、助け合い、真に兄弟のような家族が建設されました。また、神学院の建物は立派で、十分な素晴らしい設備が与えられ、神学生の生活と学びに環境が整えられて、本当に感謝しております。さらに司教団によって作成された新しい

司祭召命の養成プログラムはより厳しく、厳密で、活気があり、それを通して神学生たちが自分自身で性格、心理、道徳などを見直すことができ、自分の司祭召命において神様と他の人々に奉獻、奉仕したいという思いがより強められています。

皆さん、新たに日本カトリック神学院になって毎年多数の神学生が増えていくように高校生、大学生、青年たちのためにお祈りしてください。彼らが司祭召命を選んで、世俗の快樂と仕事を捨てて神に従い、神と多くの人々のために生き、愛と赦しと分かち合いに生き方を知り、信仰によって心の喜びをもって自分を奉獻し、司祭召命に答えるように。そして、司祭になって人々との対話に最も役立つ適当な能力を培い、他の人々の話を心込めて聞くことができ、人間関係の種々の状態に対しては愛の精神を持って心を開き、イエス・キリストの忠誠な信仰証人のような方をすべての人々が期待しています。



教区報では、司祭年特別企画として3号にわたって、岡山・鳥取地区（地区長 荻神父）、山口・島根地区（地区長 佐々木神父）、広島地区（地区長 後藤神父）の3地区の教会で働く司祭の紹介を行います。今号は、岡山・鳥取地区です。次号は、山口・島根地区の予定です。

①米子教会 ②境港教会（巡回）

ニシエカズシ  
西江 和司 神父

出身：広島県  
生年月日：1958年1月20日  
叙階日：1996年3月24日  
洗礼名：ステファノ  
叙階記念カードのことはば：  
どうしてそのようなことがありえましょう。されど、視よ！我は主の婢女なり、汝の言の如く、我に成れかし。ルカ1：34～38



③倉吉教会

セキリョウイチ  
関 亮一 神父（淳心会）

出身：ベルギー国  
生年月日：1925年1月21日  
叙階日：1950年8月6日  
洗礼名：レナート



④鳥取教会

ノザキカズオ  
野 寄 一 夫 神父

出身：兵庫県  
生年月日：1942年10月5日  
叙階日：1973年11月23日  
洗礼名：アシジのフランシスコ



⑫岡山教会

オギキヨハル  
荻 喜代治 神父

出身：広島県  
生年月日：1951年6月25日  
叙階日：1978年4月29日  
洗礼名：アンドレア  
叙階記念カードのことはば：  
身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人もわたしを幸いな者と言うでしょう。ルカ1：46～55



⑤津山教会

ヴァン・デ・ワーレ・ロジェ 神父（淳心会）

出身：ベルギー国  
生年月日：1927年4月20日  
叙階日：1953年8月2日  
洗礼名：ロジェ



⑥笠岡教会（担当）

ハツトリダイスケ  
服部 大介 神父

出身：広島県  
生年月日：1962年7月20日  
叙階日：1997年3月20日  
洗礼名：ペトロ  
叙階記念カードのことはば：  
来なさい、そうすれば分かる。ヨハネ1：39



⑥笠岡教会（担当）

ギャリー・ゲストベオ 神父（淳心会）

出身：フィリピン国・イロイロ島  
生年月日：1973年4月9日  
叙階日：2004年7月24日  
叙階記念カードのことはば：  
あなたがたが外へ出て行って実を結び、その実が残るように、私があなたがたを世から選び出した。ヨハネ15：16、19



⑦玉島⑧倉敷⑨水島教会（倉敷ブロック）

カストロベルデ・パトリック・バスコン 神父（淳心会）

出身：フィリピン国・セブ島  
生年月日：1979年11月5日  
叙階日：2009年5月16日  
洗礼名：パトリック  
叙階記念カードのことはば：  
友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。ヨハネ15：13



⑦玉島⑧倉敷⑨水島教会（倉敷ブロック）

ジェロム・パダモサルトノ 神父（淳心会）

出身：インドネシア国・フローレス島  
生年月日：1962年6月3日  
叙階日：1996年8月11日  
洗礼名：ジェロム  
叙階記念カードのことはば：  
人間にできることではないが、神にはできる。神は何でもできるからだ。マルコ10：27



⑦玉島⑧倉敷⑨水島教会（倉敷ブロック）

ブインガ・ブレーズ 神父（淳心会）

出身：コンゴ民主共和国  
生年月日：1974年10月6日  
叙階日：2007年7月14日  
洗礼名：ブレーズ  
叙階記念カードのことはば：  
あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが外へ出て行って実を結び、その実が残るように。ヨハネ15：16



⑭ロザリオ教会（巡回）

⑬西大寺集会所

⑩玉野教会

キムキョン  
金 起 瑩 神父

出身：韓国・釜山市  
生年月日：1974年7月23日  
叙階日：2001年12月28日  
洗礼名：アンドレア  
叙階記念カードのことはば：  
この私が飲もうとしている杯を飲むことができるか。マタイ20：22



⑫岡山教会

トヨタシヨウシン  
豊田 尚 臣 神父

出身：広島県  
生年月日：1937年7月19日  
叙階日：1966年4月17日  
洗礼名：ペトロ  
叙階記念カードのことはば：  
よく祈ることを知っている人こそ、よく生活することを知っている者である。（聖アウグスチヌス）



⑫岡山教会

ノナカイズミ  
野 中 泉 神父

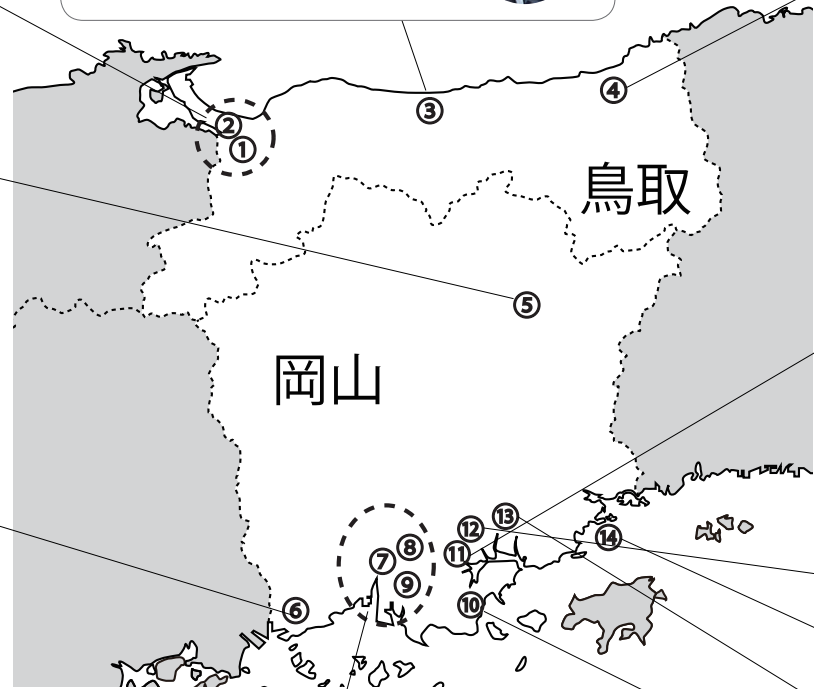
出身：長崎県  
生年月日：1958年11月18日  
叙階日：1988年3月21日  
洗礼名：ペトロ  
叙階記念カードのことはば：  
わたしの名のためにこのような子供の一人を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。マルコ9：37



⑫岡山教会

デュイルデ・ミッシェル 神父（淳心会）

出身：ベルギー国  
生年月日：1938年11月7日  
叙階日：1963年8月4日  
洗礼名：ミッシェル  
叙階記念カードのことはば：  
聖霊の火で燃え、父である神の栄光の為に、人々の中で、キリストの似姿となる、願わくは、聖父と聖子と聖霊と共に栄えあらんことを。始めにありし如く、今もいつも世々にいたるまで。アーメン。



司祭年特集  
小教区で働く司祭①

岡山・鳥取地区



地区便り

岡山・鳥取地区

第二回地区宣教司牧評議会(年三回)を十月十八日、今回は日本海側、米子教会で行った。司祭評議会・修女連代表及び各小教区一名代表と三推進チーム・ユニティ岡山鳥取・青年会連合・高校生会・殉教関係代表の二十名が参加(欠席七名)。構成員の多さが特徴。その長所は各現場の実態が共有されること、欠点は時間の制限があつて話し合いが紹介程度に終わってしまったこと。その点を改善するため、事前にテーマを通知し、考えを持って来ることにした。

特徴的な点を拾います。教会共同体活動の振り返りと方向付けに四推進柱を据えてきたこと。現代の要請に応え、在住外国人共生支援が急激に広がっていること。教区独自の召命である平和推進には、伝統的な教区活動への参加の広がり新たな時代の要請に応える活動が見られること(核廃絶への協力、貧困に対応する

るネットワークづくり等)。高校生会が現代の問題へ教区テーマに沿って新鮮な思いで挑戦していること(引きこもり、自死ほか、社会的・世界的問題へ新しい人として自分の立地点を見直し再出発)。巡礼行事に他府県との交流・親交が拡大していること。聖ビアンネについて教区からもっと教えて欲しいという希望も出た。課題は、教会規模の違いによって活動の性格・規模は当然異なるが、どのようにして支援協働できるか、ということであった。

山口・鳥根地区

『少年の集い』  
『ジャンボカルタ記録集』  
発行

二〇〇九年十一月に行われた地区大会に合わせ、二〇〇七年と二〇〇九年に作成した山口鳥根地区に係る聖人と福者のカルタについてまとめた記録集を発行し、教区内の小教区や学校などに配布した。

夏の日韓合同キャンプ  
八月八日〜十二日にかけて、釜山南川聖堂との二年

に一回の交流会が行われる。今回は、日本側引き受けで、中高生とリーダーによる徳地少年の家でのキャンプや平和を学ぶ広島巡礼、最終日にはホームステイが予定されている。

『養成研修 これからの予定』  
祈りの体験研修⑤⑥(ラフォント神父)  
一月十六日(土)と三月六日(土)。前期研修はこの二回で修了。

信者養成研修会④(百瀬神父)  
二月十三日(土)〜十四日(日) 宗像の黙想の家にテーマは「キリスト者の希望」。

典礼研修会(具神父)  
一般・三月十二日(金)と十四日(日)、内容同じ。  
学生・リーダー・三月十三日(土)。いずれも山口にて。



ジャンボカルタ記録集

海峡からの風17

下関労働教育センターだより

●「無原罪の御宿り」の日。日本が対米戦争を始めた、真珠湾攻撃の日であることを知っている世代も少なくなつたようです。●あの攻撃から六十八年経ち、今年も戦艦アリゾナの沈没地前で花輪が捧げられました。●オバマ大統領がブラハで核兵器の廃絶を宣言したことで、広島・長崎の被爆者たちは、ぜひ被爆地に来て欲しいと訴えました。多くの日本人も同じように願っていると思います。●この二つの惨劇は因果関係にあります。ですから、謝罪と和解のために、まず日本の代表である首相がホノルルに訪れて犠牲者の追悼ができないでしょうか？米国が原爆投下について公式に謝罪しないことは、許されることではないように、真珠湾の奇襲もまた同じなのです。●国益を争う戦争という観点ではなく、ひとりひとりの「死」ということを想起し、その死に多く

の家族や縁者が悲しみ、苦しんだという想像力が重要です。●(ヒロシマ)というとき(ああ ヒロシマ)と(やさしくこたえてくれるだろうか(ヒロシマ)といえ(パール・ハーバー)〜(ヒロシマ)といえ(南京虐殺)〜(ヒロシマ)といえ(女や子供を壕のなかにとじこめ)〜ガソリンをかけて焼いたマニラの火刑)〜(ヒロシマ)といえ(血と炎のこだまが返ってくるのだ)〜(ヒロシマ)といえ(ああ ヒロシマ)とやさしくは返ってこない)〜アジアの国々の死者たちや無告の民が(いつせいに犯されたものの怒りを)〜噴き出すのだ ●栗原貞子さんの『ヒロシマ』というとき』という詩の一節です。赦しは要求するものではなく、与えられるもの。●原爆の炸裂と、それを引き起こした、アジア・太平洋戦争という人の原罪、そしてイエズスの誕生を考える十二月でした。(細江教会・廣崎リュウ)

広島地区

平和推進チームは来年度、わたしたち教会の正義平和活動の基本たる社会教説を学ぶことに重点を置く計画を進めています。また、二月二十一日の「平和アピール一九八一」記念行事には、信徒の手による朗読劇「この子たちの夏」を上演する予定です。

養成推進チームの活動の主眼は、福音を宣べ伝える教会メンバーの養成です。広島地区として初めて、集会祭儀司式者養成講座を一月から始めます。また、来年度から二年計画で信者の活動を支える祈りの体験コースを設けます。

きょうどう推進チームは地区週報の発行を地道に続け、小教区相互のコミュニケーションの深まりをもたらしめています。

この十二月、向原教会聖堂補修は降雪前に無事完了しました。補修経費の一部を地区内の教会・修道会から献金により支えることができたのは、きょうどうの裏りと喜び合いたい。



広島地区の施設

ノートルダム清心女子大学

ノートルダム清心女子大学(岡山市北区伊福町)が二〇〇九年に創立六十周年を迎えた。キリスト教思想に基づき、一貫して女性の自立をはぐくみ、卒業生は二万人にのぼる。高木孝子学長に地域に根ざした歩みと今後、目指すところを語ってもらった。

―六十周年おめでとうございませう。十二月七日には学内で記念のミサ・記念式典が開かれた。「戦後の学制改革で県内の四年制女子大学として一九四九年に誕生した。フランスで創立されたカトリックの教育修道会、ナミュール・ノートルダム修道女会を設立母体とし、創立者マザー・ジュリーの建学精神を守っている。マザーが大切にしたのは全人教育

で、学生一人ひとりが持つ適性を認めて、育て、自信をつけさせて社会に出す。人間の尊厳と人格形成を基礎とした教育方針で、自らの力で考え、行動できる「真の自由人」の育成を目指している。」

―女性の自立教育に尽くしてきた。「米国から六人のシスターが岡山に派遣され、戦前、清心高等女学校を運営したのが始まり。戦中、戦後を通して、教育方針は変わらない。理科系、実学的なものニーズに対応、清心高等女学校内に、四四年家政学部(現人間生活学部)の前身として清心女子専門学校をつくられた。女性の経済的自立、精神的自立、社会的自立を戦中からはぐくんできた高等教育の場であったといえる。キリスト教思想がベースにあり、洗練された教養につながっ



高木孝子学長

た。リベラル・アーツ・カレッジとしての性格を大事にし、社会の変化に対応できる柔軟な知性と感性を養うことを目的としてきた。」

―奉仕の精神を大切にしている。

―オープンカレッジとしての公開講座や、山陽新聞社との連携で国際教育フォーラムなど地域に開かれた大学として取り組んでいる。学内ではマレーシア奉仕団を長年派遣し、ボランティア活動を通じて人とかわる意義を学んでいる。同窓会もチャリティーコンサートや子育て講座を開き地域社会に貢献している。」

―各大学が動いています。」

―〇三年に文学部に六番目の学科として現代社会科学を創設、社会科学系の学問への希求に対応した。人間生活学部の児童学科では幼小の専攻の枠をはずし、小学校教諭、幼稚園教諭の免

許に加え保育士の資格も取得可能とした。幼保一元化も背景にはある。大学院で人間発達学専攻に臨床心理学コースを加えた。心のケアに携わる専門家が求められていることから。伝統を保ち品格を持ちながら、社会的ニーズに応え、変えるべきものは勇気をもって変えなければならぬ。」

―学長で教壇も。「先生方とのかかわりの中では、違いを意識するよりも先生方の多様性を尊重し、互いの共通項は何かを探すように努めてきた。学部の全学共通科目としてキリスト教を教え、大学院ではキリスト教思想を教えている。教えるいたみを通して、先生方のいたみが感じられる。教えるからこそ、教職員とつながっていく、学生に近い目線で考えられる。」

―今後の抱負は。「アジア共同体で社会貢献できる人の育成に力を入れたい。各国の言語、文化、経済、経営、総合政策を理解しアジアを舞台に活躍できる学生を育てたい。」



# 青少年の活動

## 青少年のいま — 各地区の青年活動

広島教区内の三つの地区では各々青年活動をしています。今回は広島地区、岡山・鳥取地区の青年活動を紹介します。また毎年春には三地区で協力して教区青年大会、年明けには新年会を開催するなど地区を越えた活動もしています。

### 広島地区青年会の活動

広島地区青年会とは、広島地区、十四の教会の青年たちを対象とした集まりです。活動日は毎月第二土曜日、場所は主に翠町教会です。活動内容は、神父様による聖書の勉強や夕食をみんなで食べたりしています。毎回それぞれの教会から十五人程度の青年が集まり、近況報告や色々話し合います。時にはテゼの祈り

をしたり、映画鑑賞や夏には海に行ったりと、色々企画しています。

### 岡山・鳥取地区 青年連合の活動

地区青年の活動はここ数年、息をひそめたまま静かです。岡山教会を中心に活動拠点とし、諸教会にイベントや情報を発信しています。青年の現状は岡山教会と笠岡教会に数名。近隣教会に一、二名確認できるか

### 三地区合同新年会

毎年、年明けに各地区持ち回りで青年の三地区合同

できないか。NWM広島も終わり、若干活発になる兆しが有るような無いような。連合代表をはじめ、協力メンバーがあの手この手で頑張っています。少ないメンバー、小規模の活動ですが楽しく元気な「晴れの国」スタッフが盛りあげてくれるでしょう！



## 司祭年に思うこと！

松江教会

深堀 升治 神父

教皇様が聖心の祝日に、ヨハネ・マリア・ビアンネ司祭亡後五十年に際し、一年間を司祭年として全司祭への励ましと、司祭職への再自覚を呼びかけられたことは、二〇〇九年のパウロ年終了に合わせて印象深

く心に残ります。司祭叙階の恵みの内に有る人ともう一方の協力者である洗礼を受けた一人一人の方にも、実は司祭年に無関係ではないのではと感じています。すべて、キリストに結ばれた人は、キリストと同じ働きと使命に召されていることに注目したいものです。独身生活者であれ、結婚して家族を構成している人も、キリストのようにその場、

家庭、職場、近隣の人々の中でキリストを知らされてない方への教職のつとめを、愛の集いで一つになれるようにまとめ治める牧職を、又、少しでも人々との交わりの中で聖なる方向に、義化される恵みに向かう祭職を、自分自身の中に働く主の聖霊に導かれてこの（三つの尊い）仕事を司祭との協力の内に実行して行けたら、各小教区は生き生きとして来るのではないかと思います。

松江教会に赴任してもうすぐ二年になります。美しい日本海、今は夜な夜な漁火が美しく海に輝いています。宍道湖の夕陽はすてきです。山も何もかも、それにこれほど温泉に恵まれているのは広島教区一番でしょう。是非巡礼におこしください。この地方では感謝のことは「ダンダン」と言います。私もはじめて車でお別れの挨拶をしていた時、ダンダン言われて思わず階段を踏み外さないでと聞こえて、ヒヤツとしたことがあります。感謝の心は配慮、気配り、敏感さが必要なものでしょう。まだ一度も主の教えも、聖堂にも入ったことのない人に少しのお手伝いをしようと思いつつ。

### 中国プロテスタントカトリック 高校生大会のお知らせ

今年も中ブロの季節がやってきました。  
日時：三月二十五～二十八日  
場所：岡山清心一の宮校舎  
対象：中学三年～高校三年  
詳しくは各小教区配布の案内をご覧ください。

新年会を開催しています。お誘い合わせの上ぜひご参加ください。  
日時：一月三十日十九時～三十一日十二時  
場所：岡山・笠岡教会  
参加費：二五〇〇円（宿泊費込み）一日のみ  
参加は一〇〇〇円  
参加要望：一八歳以上（高校生不可）の青年、広島教区外、未信者の参加者も大歓迎です！



教区報を担当するようになって三回目のクリスマス・新年を迎えた。また新たな気持ちで関わっていきたい。(み)



〈64〉